

「ICOM 博物館の定義」の見直しに関する意見募集について

ICOM は博物館の定義を現状に則した内容に改定することについて、ICOM（国際博物館会議）の「博物館の定義、見通しと可能性（MDPP）常設委員会」において検討を進めていますが、ICOM 執行役員会はその「提言と報告」を、2018 年 12 月に全会一致で採択しました。現在、新しい定義を 2019 年 9 月の ICOM 京都大会で採択すべく、ICOM では 5 月 20 を期限に、会員・非会員を問わず広く意見を求めています。新しい博物館の定義が京都大会で採択されることは大変意義あることであり、大会主催者である ICOM 日本委員会としても、積極的にこの過程に参画していくべきと考えます。

つきましては、「提言と報告」をご参照のうえ、ICOM 公式 HP

<<https://icom.museum/en/activities/standards-guidelines/museum-definition/>>

から、ぜひ、ご意見、ご提案をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。なお、文字数制限は 1,200 文字までで、日本語で提出する場合は、英文の仮訳が必要となります。

（以下、ICOM 公式 HP の仮訳）

<<https://icom.museum/en/activities/standards-guidelines/museum-definition/>>

ICOM の根幹を支える新しい「博物館の定義」の制定に参加しよう

新たな「博物館の定義」の必要性

これまでの数十年間にわたり、博物館は自らの理念、方針、慣行を大々的に変革、調整および再投資してきましたが、もはや、ICOM の「博物館の定義」が課題ならびに多様なビジョンや責務を反映していないと考えられています。従って、会員やその他の利害関係者には新しい、現状により即した定義の策定に関与していただきたく存じます。

提案は以下のフォームを使って 2019 年 5 月 20 日までに提出可能であり、新規提案は、常時、こちらに掲示されます。新しい定義の採決は 2019 年 9 月の京都大会にて行われます。

(<https://icom.museum/en/news/the-museum-definition-the-backbone-of-icom/>)

新しい「博物館の定義」の形式

新たな定義は法のように簡明または詩のように簡潔なものでも構いません。もしくは、両方の要素が組み込まれていても結構です。長いもの、短いもの、全体にまとまったもの、

複数の節や階層に枝分かれしているものなど形式は自由とします。ただし、新規の定義に包含または反映させたいと考えている一定のパラメータが存在します：

以下のガイドラインは、新しい「博物館の定義」へ向け提出されたものです。

- ・「博物館の定義」では、博物館の目的と価値が明確になされるべきであり、その目的と価値は、博物館が常に未来へ向け、持続可能で、かつ倫理、政治、社会、文化上の課題と責任を成就するべきものである
- ・「博物館の定義」は、仮に現行の用語が今後変化する場合でも、文化的遺産のコレクションやその他の収集、保全、記録、研究、展示ならびに伝達の機能が、博物館の独特で、かつ根源的な統一性で持って、保持されることを明記する
- ・「博物館の定義」は、現実社会の緊急性および持続可能な解決策の開発と実施という責務を含む
- ・「博物館の定義」では、博物館が世界規模で活動を行うにあたっては、多様な世界観や慣行等を敬意と配慮を持つべきとの認識が必要である
- ・「博物館の定義」は、地球規模、国内、地域、地方レベルでの権力と富に関わる、根深い社会の不平等や非対称という存在を、危惧の念を持って認識されるべきである
- ・「博物館の定義」では、博物館に従事する専門家が、帰属するコミュニティに関して、協調と共有のコミットメントを示し、責任と権限で持って、一貫した役割を果たすことを表明すべきである
- ・「博物館の定義」は、学習と交流のための有意義な場、および開放的で多様なプラットフォームという博物館らしき社会性のコミットメントを表明すべきである
- ・「博物館の定義」では、物質、財務、社会、知的リソースの取得と活用にあたっては、博物館がその説明責任と透明性を明確にすべきである。

<本件に関する問い合わせ先>

ICOM 日本委員会 担当：宮戸

tel: 03-5832-9108

e-mail: icom-j-muse.or.jp

110-0007 東京都台東区上野公園 12-52

日本博物館協会事務局内